2026年11月11日

各　位

会 社 名　株式会社奥村組
代表者名　代表取締役社長　奥村 太加典
（コード番号 1833 東証プライム）
問合せ先　管理本部経理部長　奥田　俊輔
（TEL. 06－6621－1101）

営業外費用(為替予約評価損)の計上に関するお知らせ

当社は、2027年3月期第2四半期（中間期）連結決算において、営業外費用(為替予約評価損)を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用(為替予約評価損)の計上について

決算期末日時点における為替予約未決済残高の時価評価損益（累計）は下表のとおりで、2027年3月期第2四半期（中間期）決算においては、連結損益計算書の営業外費用に為替予約評価損941百万円を計上しました。

（単位：百万円）

	2026年3月期	2027年3月期			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
【決算期末日】 連結累計期間の時価評価損益 （評価損は△）	5,454	6,918	4,513	―	―
（連結会計期間の時価評価損益）		（1,463）	（△2,404）	（―）	（―）
【前連結会計年度末日】 時価評価損益の洗替処理	701	△5,454	△5,454	―	―
連結損益計算書計上額 （評価損は△）	**6,156**	**1,463**	**△941**	**―**	**―**

（注）当社の連結子会社である石狩バイオエナジー合同会社は、事業期間中の燃料調達取引にかかる為替相場の変動リスクをヘッジする手段として長期の為替予約契約を締結しており、決算期末日時点における為替予約未決済残高の時価評価損益は、ヘッジ会計を適用することにより連結貸借対照表上に「繰延ヘッジ損益」として計上していましたが、2024年7月19日に同社の発電施設において爆発事故が発生し、ヘッジ会計の適用要件を充足しなくなったことから、2025年3月期第2四半期（中間期）以降、ヘッジ会計の適用を中止しています。
これにより、同社の決算期末日時点における為替予約未決済残高の時価評価損益は、連結損益計算書の営業外費用または営業外収益に「為替予約評価損益」として計上しています。

2. 業績に与える影響

当社は、本日別途公表しました「2027 年 3 月期　第 2 四半期（中間期）決算短信」において、2027 年 3 月期の連結業績予想を修正していますが、当該連結業績予想には、石狩バイオエナジー合同会社が計上する為替予約評価損益を織り込んでいません。

今後、当社の連結業績は、為替相場等の動向に大きく影響を受ける可能性があります。

3. 配当に与える影響

上記 1.の為替予約評価損は、現中期経営計画(2025～2027 年度) 期間中における当社の株主還元政策に基づき、配当性向の計算には含まれません。

中期経営計画(2025～2027 年度)期間中の株主還元政策

連結配当性向※1 70%以上（業績に関わらず自己資本配当率（DOE）※2 2.0%を下限とする）

※1　連結配当性向＝年間配当総額（中間＋期末）÷ 親会社株主に帰属する当期純利益〔一過性の特殊要因（為替予約評価損益）による影響を除く〕

※2　自己資本配当率（DOE）＝年間配当総額（中間＋期末）÷ 自己資本

以 上